

令和2年2月7日  
教育庁指導部指導企画課

## SOSの出し方に関する教育の取組状況について

### 1 概要

- (1) DVD教材の活用 (参考資料：SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料)
- ア 平成29年度に設置した自殺予防教育推進委員会における検討を経て、授業で活用できるDVD教材を作成し、都内全公立学校に配布
  - イ 平成30年度より、都内全公立学校において、このDVD教材を活用又は参考とした授業を、年間指導計画に位置付けるとともに、いずれかの学年において年間1単位時間上実施
  - ウ 目的は、子供が適切な援助希求行動(身近にいる信頼できる大人にSOSを出す)ができるようにすること、及び身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること
- (2) 日常における指導 (参考資料：「SOSの出し方に関する教育」の推進)
- 子供が不安や悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導を、校長講話や学級指導、相談窓口連絡先一覧の配布時などに、全ての子供を対象に毎年度繰り返し実施
- (3) 連絡会等における周知
- ア 自殺予防教育連絡会(校長対象) 令和元年5月24日(金)、29日(水)
    - (ア) 講演：「なぜ、SOSの出し方に関する教育が必要なのか  
～SOSを出す力 受け止める力を育むために～」  
講師：東京聖栄大学 教授 有村久春 氏
    - (イ) 事例発表 新宿区立東戸山小学校、葛飾区立金町中学校、都立青梅総合高等学校、  
都立墨東特別支援学校(都立白鷺特別支援学校)
  - イ 生活指導担当者連絡会(生活指導主任等対象) 令和元年8月20日(火)、21日(水)
    - 講演：「SOSの出し方に関する教育の推進 ―教師の受け止める力を高める―」  
講師：足立区衛生部参事 馬場優子 氏  
足立区衛生部こころとからだの健康づくり課こころといのち支援係長 関口久恵 氏
  - ウ 生活指導担当指導主事連絡会(区市町村教育委員会生活指導担当指導主事対象)  
平成31年4月22日(月)、令和元年6月5日(水)、11月15日(金)、令和2年2月6日(木)
  - エ スクールカウンセラー連絡会
    - (ア) 令和元年5月10日(金) (都立学校配置スクールカウンセラー対象)
    - (イ) 令和元年8月27日(火) (全スクールカウンセラー対象)
  - オ 職層別研修等の実施
    - (ア) 若手教員育成1年次(初任者)研修、期限付任用教員任用時研修 平成31年4月2日(火)  
「学校における不登校・中途退学防止対策、自殺対策について」
    - (イ) 中堅教諭等資質向上研修I 人権教育等 令和元年7月1日(月)、8日(月)  
「不登校・中退、自殺予防の取組について」
    - (ウ) 専門性向上研修 令和元年8月8日(木)  
「生活指導に求められる学校の組織的対応」

(4) 長期休業前の相談窓口連絡先一覧の配布

年に3回、長期休業前に、都内公立学校の全児童・生徒に、相談窓口連絡先一覧を配布

## 2 成果

(1) 組織的対応の強化

平成28年度から、都内全公立学校長を対象とした自殺予防教育連絡会を毎年度開催し、自殺予防対策及び「SOSの出し方に関する教育」の推進について、校長のリーダーシップによる組織的な対応の強化を図った。

(2) 教育課程への位置付け

都立学校における教育課程説明会において、「自殺対策に資する教育」の中でも、特に、「SOSの出し方に関する教育」の推進に向けた取組等を明確にして、平成31年度の教育課程に位置付けるよう周知を図った。

(3) DVD教材の活用促進

ア 児童・生徒等の変容等（令和元年度自殺予防教育連絡会アンケート結果より）

○ 児童・生徒の声

- ・誰かに相談していいことが分かった。気持ちが楽になった。
- ・自分を、友達を、人を思いやる大切さに気付かされた。
- ・先生など周囲の大人が、自分たちのことを心配してくれていることが伝わってきた。

○ 教職員の声

- ・指導後、スクールカウンセラー等に相談する児童が増えた。
- ・映像資料で分かりやすく、指導しやすかった。教員の負担感が少ないと思った。
- ・若手教員でも本教育の趣旨を大きく外れることなく、授業を組み立てることができる。

○ 保護者の声

- ・家庭でもじっくりと子供の話を聞くようにしたい。
- ・年に一度決められた学年で行うのではなく、他学年も含め継続的に指導してほしい。
- ・大人としてのSOSの受け止め方が分かった。家庭でもできる限り支援していきたい。

イ DVD教材の貸出し

複数の学級等で同時にDVD教材を使用したいとの学校の要望に応えるため、令和元年8月から東京都教職員研修センターにおいて、本DVD教材の貸出しを開始した。

## 3 課題

いじめられた児童・生徒の相談状況として、約1000人の児童・生徒が「誰にも相談していない」と回答しており、「SOSを出す、受け止める力の育成」及び「より実効性のある教育相談体制の構築」が必要である。

	平成28年度		平成29年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
誰にも相談していない	825	4.5	972	3.1

(「平成28・29年度における児童・生徒の問題行動・不登校等の実態について」 都教育委員会)

※複数回答可。他項目あり。「割合」は全認知件数に対する該当項目の割合

#### 4 今後の取組の方向性

- (1) 都内全公立学校における「SOSの出し方に関する教育」の推進
- (2) 教職員等の「SOSの受け止め方」に関する対応力の向上（参考資料：相談する時、受け止める時等の言葉例）

# 「SOSの出し方に関する教育」の推進

「SOSの出し方に関する教育」とは、「子供が、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」、「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的とした教育です。

## 「SOSの出し方に関する教育」の位置付け

平成29年7月に閣議決定された自殺総合対策大綱には、「自殺対策に資する教育」として次の3つが示されており、「SOSの出し方に関する教育」はその1つです。

### 自殺対策に資する教育

命の大切さを  
実感できる教育

様々な困難・ストレスへの対処  
方法を身に付けるための教育  
**（SOSの出し方に関する教育）**

心の健康の保持  
に係る教育

## 「SOSの出し方に関する教育」の推進

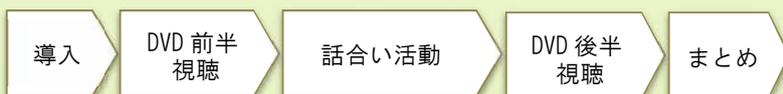
コンセプト **身近にいる信頼できる大人に相談しよう**

### ① DVD教材等を活用した「SOSの出し方に関する教育」

学級活動（ホームルーム活動）、保健体育（保健分野）等の学習と関連させ、各学校のいずれかの学年で年間1単位時間以上実施します。例）小学校6年間の中で1単位時間以上

- 発達の段階に応じて活用できるよう、初等編、中等編、高等編に分かれています。
- 視聴時間は、それぞれ20分程度です。
- 学習指導案やワークシート等も収録されています。

【DVD教材を活用した授業の流れ】



皆さんに一番伝えたいこと

一人で悩みを抱えないで

世の中には信頼できる大人が必ずいます。  
苦しい時には助けを求めてください。

DVD教材の画面例

### ② 全ての子供たちを対象とした「SOSの出し方に関する教育」

子供が不安や悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導は、校長講話や学級指導、相談窓口連絡先一覧の配布時などに、全ての子供を対象に毎年度繰り返し実施します。

## 相談する時、受け止める時等の言葉例

子供は相談したいと思っても、言い出せないでいることがあります。また、相談を受けた友達や教職員も、どのように思いを受け止めたらよいか迷うことがあります。本資料では、医療、福祉、心理等の視点から、SOSを出したり、受け止めたりする際に参考となる具体的な言葉例を掲載しています。

### 【相談する時】

言い出しにくい時の言葉例	悩み事などを打ち明ける時の言葉例
<ul style="list-style-type: none"> <li>• あの...、ちよつとよろしいですか。</li> <li>• あの...、少し話をしてもいいでしょうか。</li> <li>• あの...、少し話（相談）したいことがあるのですが。</li> <li>• あの...、少し話を聞いてもらってもいいですか。</li> <li>• あの...、今、お忙しいですか。少し時間はありますか。</li> <li>• あの...、ちよつと、今、少しだけ時間をもってもいいですか。</li> <li>• あの...、相談したいことがあるのですが、後で、少し時間をつくってもらってもいいですか。</li> <li>• あの...、今度、少し時間をつくってもらえたらうれしいのですが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本当は、もっと早く相談したかったのですが、</li> <li>• 自分が、今、どうすればいいかわからなくて、</li> <li>• ちよつと話しづらいことなのですが、</li> <li>• 驚かないで聞いてもらえますか</li> <li>• もしかしたら、びっくりするかもしれませんが、</li> <li>• まだ、誰にも話してないのですが、</li> <li>• うまく話せるかどうか自信がないのですが、</li> <li>• 何から話せばいいのか、わかりませんが、</li> <li>• 実は...</li> </ul>

### 【受け止める時】

気に掛かる様子が見られた時の言葉例	相手の思いを受け止める時の言葉例	言っではいけない言葉例
<ul style="list-style-type: none"> <li>• どうしましたか？</li> <li>• どうしたの？ 何か辛そうだけど</li> <li>• なんか元気がないけど大丈夫？</li> <li>• 何か悩んでいる？ よかったら話して</li> <li>• 何か力になれることはない？</li> <li>• 何か悩み事があるんじゃない？</li> <li>• もしよかつたら、心配なことを話してくれませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 辛かったですね</li> <li>• 大変でしたね</li> <li>• よく耐えてきましたね</li> <li>• 今までよく頑張ってきましたね</li> <li>• よく話してくれましたね</li> <li>• あなたのことが心配</li> <li>• 力になりたい</li> <li>• 私にできることはある？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 頑張り</li> <li>• 命を粗末にするな</li> <li>• 逃げてはダメだ</li> <li>• そのうちどうにかなるよ</li> <li>• ご両親や友達が悲しむよ</li> <li>• そんなこと考えちゃダメ</li> </ul>